

第10回かながわ商店街大賞 受賞者の紹介

大賞：横浜橋通商店街協同組合／横浜市南区 ～商店街一丸となってコロナに立ち向かう～

アーケード内に生鮮品店や個性的な店が並び終日賑わう、地域に密着した商店街。個店でのコロナ感染拡大防止策に加え、令和2年2月から商店街で始めた、次亜塩素酸を散布するなどアーケードを清掃・消毒する取組み「コロナバスターズ」は、多くのメディアに取り上げられ、毎週金曜日に現在まで継続されている。商店街一丸となってコロナに中長期に渡って立ち向かい、来街者が安心して買い物ができるような環境づくりに取り組んでいるほか、長年続く抽選会等のイベント、商店街の総菜を味わっていただく大人縁日等、人と人とのつながりを大切に地域の状況にあった商店街活動をしていることが評価された。

優秀賞：橋本商店街協同組合／相模原市緑区 ～商店街独自のスマホアプリを最大限に活用～

橋本駅の両側に広がり、若手役員が柔軟な発想で新たな事業企画立案等を行っている商店街。ハロウィン、まちゼミや、商店街の街路灯などにお店のちょっとした情報をPOPで掲出する「つぶやき大作戦」等様々なイベントを開催。またコロナで影響を受けている加盟店を支援する取組として、道路占用許可基準の緩和措置を活用し、駅前路上にてお弁当や商品の販売、出張体験等ができる「はしべんプラス」も開始。これらの情報は、商店街独自のスマホアプリ「橋本アプリ」で発信されている。街の人口形態や環境が大きく変化している地域でSNSやアプリを最大限に利用した来街・来店の促進が期待でき、今後も新たな取り組みにチャレンジする力をもっていることが評価された。

優秀賞：上溝商店街振興組合／相模原市中央区～地域内の資源を大切にした独自性ある街づくり～

相模線・上溝駅前に広がる、古く歴史のある商店街。「溝のだるま市」や「溝の酉の市」など縁起物を販売するイベントや「溝の朝市」や「溝の骨董市」といった地域に根付いた多くのイベントを実施。「溝の七福神めぐり」は、商店街区内に設置した七福神をめぐり御朱印を完成させる参加型イベントで、密にならずに商店街内を回遊してもらえる効果が得られる。また、地域にある寺社を商店街にて運営管理する協定を結ぶなど、地域にある資源を大切に、独自性ある街づくりを進めていることが評価された。

特別賞：鹿島田商店会／川崎市幸区 ～新たな生活様式に対応した手法でイベントを展開～

南武線・鹿島田駅と横須賀線・新川崎駅との間にある歴史ある商店街。通勤客や地域住民が交流できるイベントを行っていたが、コロナ発生後の令和2年度からはコンサート、クイズ、コンテスト等のイベント開催の手段にオンラインを導入し、さらに令和3年度からは事務局を置き商店街の体制を整え、リアルとオンラインの「ハイブリッド方式」での取組を促進している。オンラインを活用した非接触型でのクイズやコンテストなどへの取組は今後の商店街活動の手法の一つのモデルになることが期待できると評価された。

特別賞：さくらみちブラボーズ／茅ヶ崎市～会員15店の小さな組織でも地域を巻き込み精力的に活動～

東海道線・茅ヶ崎駅と辻堂駅間に会員店15店が点在し、若手を中心に平成26年に結成された商店街。自治会やサークル、コミュニティーセンター等と連携を図り、地域を巻き込みながらイベント等を開催。また商店街店舗の商品や店主等の紹介動画「ブラチャン」や、「商店街ソング」も製作し商店街をPRしている。開発地域で地縁のない住民が多いエリアにおける商店街活動としてモデル性を有しており、小さな組織でありながら地域と連携することで多様な事業展開を図っている点などが評価された。

特別賞：大原町商和会／伊勢原市 ～組織一体となって、会員をサポート～

小田急線・伊勢原駅南口に広がる商店街。地域の大きなイベント「伊勢原観光道灌まつり」でのステージイベントやハロウィンイベントでは大型店やチェーン店とも協力を図っている。コロナ禍対策においては、感染症対策になかなか手を付けられない会員のために、商店街で一括して備品等無償貸出を申請し、またマスクや消毒用アルコール等の無償配布、キャッシュレス決済導入支援等、サポートしている。役員・会員が密に連絡をとり交流し、商店街内の情報を共有し、商店街としてきめ細かく会員をサポートする取組などが会員増にもつながっている点が評価された。

第11回

かながわ商店街大賞 商店街部門 募集要項

かながわ商店街大賞実行委員会では、神奈川県内の商店街の優れた取組みを表彰し、あらためてより多くの県民・来街者の皆さまに商店街の役割や魅力を知っていただき、他の商店街の活性化の取組みの参考としてもらい、県内の商店街全体の活性化に寄与することを目的に、毎年、かながわ商店街大賞を実施しています。

昨今、コロナ禍が長期化する中でも、ウィズコロナやアフターコロナの事業展開に取組み始めている県内の商店街も見られるようになってきました。

商店街の活力を取り戻し、地域を元気にしようとの思いを胸に、日々、工夫をしながら、精一杯、商店街の活動に取り組んでいる皆さんからのご応募を、心からお待ちしています。

かながわ商店街大賞実行委員会

表彰の種類

- 大賞** 1 団体 副賞 8 万円、楯
- 優秀賞** 2 団体程度 副賞 3 万円、楯
- 特別賞** 2 団体程度 副賞 1 万円、楯

※大賞は県知事表彰、優秀賞と特別賞はかながわ商店街大賞実行委員会委員長表彰です。

表彰の要件

- ・活性化に向けて、特色ある取組みを意欲的に実施している商店街であること。
なお、取組みには新しい生活様式・SDGs (特に脱炭素)・DX (※) に対応した取組みもあります。
- ・取組みの結果、賑わい等 (コロナ禍の中ではその制約の中で活性化が図られていること) がもたらされている商店街であること。
- ・実施している取組みの内容が他の商店街の参考となる商店街であること。

※新しい生活様式とは、感染対策、密集回避等への対策を日常生活に取入れた、生活様式のこと。
※SDGsとは、環境や資源を壊さずに今の生活をより良い状態に継続できる17の目標。なお、県では特に二酸化炭素の排出量をゼロにする取 (脱炭素) を推奨しています。
※DXとは、進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること。
(取組みの事例は次頁参照)

応募

応募書 (別紙) に記入の上、郵送または持参してください。
自薦及び他薦いずれも可能。

※過去4年以内に商店街部門の大賞及びこれと類似の国及び県の表彰等を受賞した商店街は選考対象から除外する。

応募締切

令和4年9月30日 (金) ※当日消印有効

審査及び表彰

審査委員会による審査を経て12月上旬に決定し、令和5年1月初旬に表彰式を行います。(予定)

問合せ先・応募先

かながわ商店街大賞実行委員会

事務局 公益社団法人商連かながわ

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80

神奈川中小企業センター3階

電話 045-633-5184 F A X 045-633-5185

取組みの事例

- ・ウェブ上でも注文を受け付け、商品は配送でのお届けを選択可能とした。
- ・買い物難民・高齢者などに、商店街でとりまとめ店舗の品を配達している。
- ・商店街ツアーを動画配信した。
- ・密を避けるため、(アプリ等を利用) 商店街を巡るスタンプラリーを実施した。
- ・SNS を利用し、商店街・お店のお得情報、イベント情報などを発信。
- ・商店街、商店街の店舗を紹介する動画を作成し、PRした。
- ・レジ前の飛沫防止シートに地元アーティストが絵を書き店を明るくした。
- ・商店街のキャラクターをつかった感染対策グッズを作成し、広くPRした。
- ・商店街のお店で子ども達がお店番を体験。
- ・長年にわたり地域住民が楽しめるイベントを開催している。
- ・商店街で、子ども達が集える場所を提供 (子ども食堂など)
- ・地域の花さくらをモチーフにオリジナル商品を商店街で開発販売などをした。
- ・商店街でお年寄りを見守る取組みをした。
- ・行政と連携して商店街の空き店舗を活用。(レンタルスペース・手作り品販売等)
- ・商店街で、家庭に余っている食品を集めて、必要とする人へ譲ることで食品ロスをなくした。
- ・ごみ排出量の削減を目指し、量り売りや小分けでの販売を行った。

記載の取組みは一例です。

商店街で「当たり前」に取組んでいることが、小さな商店街でも、立地条件に恵まれていない商店街でも、コツコツとやってきたことが表彰の対象になったり、他の商店街の参考になったりすることがあります!

過去の受賞商店街の取組みは

商連かながわホームページ「商店街に行こう! in かながわ」または、
神奈川県のかながわ商店街大賞のホームページをご覧ください。

※応募書のデータはこちらにあります。

商連かながわ

検索

神奈川県 商店街大賞

検索

主催：かながわ商店街大賞実行委員会

神奈川県・公益社団法人商連かながわ・神奈川県商店街振興組合連合会
一般社団法人神奈川県商工会議所連合会・神奈川県商工会連合会
神奈川県中小企業団体中央会・公益財団法人神奈川産業振興センター

後援：神奈川新聞社・t v k